



駆け抜けた8人の選手 ～34.6kmの記録～

上益城郡町対抗駅伝大会

第37回上益城郡町対抗駅伝大会が12月16日、御船町役場前スタート、益城町総合運動公園陸上競技場ゴールのコースで行われました。今年は、5町7チームが出場し、8区間34・6^{キロ}のコースを8人が優勝への思いを込め「襷」をゴールまでつなぎました。

惜しくも、御船町は2位という結果でしたが、1位の益城町Aとの差はわずか17秒でした。

レース前半は、町対抗駅伝初出場の2人、1区・中村恭晨選手（御船中2年）と3区・坂本美紀選手（御船中1年）が力走を見せ、2区・松永匡史選手（一般）が48秒差を逆転し2位に浮上、3区で3位に順位を下げましたが、初めて出走メンバーに選ばれた4区・川上宏紀選手（矢部高3年）が順位を上げ1位と48秒差の2位で前半を終えました。後半は県内でもトップクラスの力を持つ、5区・高田凜太郎選手（御船中3年）が48秒差を逆転、逆に1分12秒差をつけて1位に順位を上げました。9年ぶりの出場となった6区・東朱香選手（一般）、2年連続で出場した7区・瀧上大貴選



全国大会に出場する、前列左から倉田晃太郎君、矢壁孝志君、江本優作君、林利紀君4人とものづくり部の部員

狙うはロボコン大賞！御船中10年連続全国大会出場

御船中学校ものづくり部

九州大会出場

12月1日、2日に宮崎県宮崎市で開催された、第14回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会に御船中学校（加藤敬之校長、433人）が県代表として出場しました。九州・沖縄の各県の予選を勝ち抜いた、代表95チームのうち、御船中学校の「ものづくり部」は、授業部門に1チーム、応用部門に3チームの計4チームが出場しました。

御船中は授業部門、応用部門とも予選では3チームが1位で決勝トーナメントに進出しました。応用部門の準々決勝では、御船中の「新生御船ファイナル」対「百花繚乱」の御船中同士の戦いとなり、勝利した「新生御船ファイナル」が準決勝、決勝と勝利し、応用部門で2年ぶりの優勝を果たしました。



御船中同士の対戦になった応用部門の準々決勝

（御船中提供）

10年連続の全国大会へ

1月26日、27日に東京都で開催されるロボコン全国大会で、4年ぶり4度目の頂点を目指す「新生御船ファイナル」。

チーム唯一の3年生でリーダーの矢壁孝志君は「目標は優勝（競技の部）です。そして、今年は御船中がまだ受賞していない、ロボコン大賞を目指し頑張ります」と話していました。

また、ものづくり部顧問の原順一先生は「今回はルールの難易度が上がり、生徒たちもロボット製作にとっても苦労していたが、今年も生徒たちの頑張りで、いいロボットが制作できました。日頃から地域の人たちの協力があつて活動できているので、その感謝の気持ちを全国で表してほしい」と話していました。

全国大会出場選手紹介（敬称略）

- ・矢壁 孝志（3年）
- ・倉田晃太郎（2年）
- ・林 利紀（2年）
- ・江本 優作（2年）

全御船中ものづくり部

部員（15人） 3年生4人
2年生8人
1年生3人

顧問：原 順一先生
木村範子先生

手（熊本工3年）、8年連続出場の8区・大場祐哉選手（一般）の力走も及ばず、2位でのゴールとなりました。山下直樹監督は「前回3位、今回2位と年々優勝に近づいている。来年こそは8年ぶりの優勝旗を持ち帰りたい」と次回への抱負を述べました。

大会メンバー（敬称略）

中村恭晨／松永匡史／坂本美紀／川上宏紀／高田凜太郎／東朱香／瀧上大貴／大場祐哉／舩田海晟／増田晃大／石坂茉宙／彌永かな／森川将光／倉内雅比古

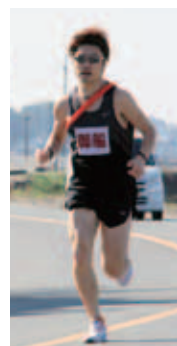
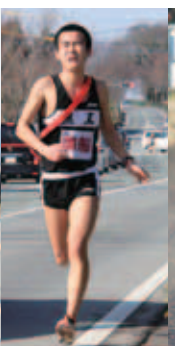
大会記録

【総合】

- ① 益城町A 1時間54分59秒
- ② 御船町 1時間55分16秒
- ③ 甲佐町 1時間57分03秒
- ④ 山都町A 5益城町B
- ⑤ 益城町B
- ⑥ 嘉島町 7山都町B

【個人】区間記録（下段）の見方

- ① 区間（距離）
- ② 氏名（区間記録）
- ③ 区間順位・④ 総合順位

							
8区(5・3 km) 大場 祐哉(16分46秒) 区間2位・総合2位	7区(6・1 km) 瀧上 大貴(19分27秒) 区間3位・総合1位	6区(3・1 km) 東 朱香(11分32秒) 区間4位・総合1位	5区(4・7 km) 高田凜太郎(15分4秒) 区間1位・総合1位	4区(4・8 km) 川上 宏紀(15分38秒) 区間3位・総合2位	3区(3・1 km) 坂本 美紀(11分44秒) 区間3位・総合3位	2区(4・2 km) 松永 匡史(13分28秒) 区間3位・総合2位	1区(3・3 km) 中村 恭晨(11分37秒) 区間4位・総合4位